

愛媛県中学生なわとび大会2024

☆ 参加資格

- 1 参加者は、愛媛県内の中学校に在籍する生徒であること。
- 2 年齢は、平成20年(2008年)4月2日以降に生まれた者に限る。
- 3 団体部門は学校単位や地域スポーツクラブ活動単位、複数校合同チーム単位で参加が可能。

☆ 参加規定

- 1 申し込みは、締切日までに、大会事務局に申し込む。締切日以降や当日の申し込み、ならびに出場する種目の変更は、一切認めない。
- 2 出場種目は、個人1人3種目までとする。
- 3 健康状態については、保護者・チーム責任者が責任をもつこと。傷害保険料を越える範囲の事故については、協会は責任を負わない。
- 4 棄権する場合は、大会前日までに大会事務局にメールで届け出る。やむを得ない場合は当日も可。
- 5 規定にない事態が発生したときは、競技部（会長・審判長・事務局等）で協議し決定する。

☆ カテゴリー

- 【個人部門】 1年男子・1年女子・2年男子・2年女子・3年男子・3年女子
【団体部門】 中学生

☆ 競技種目

- 【個人部門】 ※1人3種目まで
30秒スピード（かけ足とび）、二重とび、あや二重とび、三重とび
【団体部門】
8の字ジャンプ、8人とび

☆ 表彰規定

- 【個人種目】
参加者には記録証を授与する。各部門・各カテゴリー・各種目上位3名には、賞状を授与する。また、上位1名には、副賞を授与する。
- 【団体種目】
参加者には記録証を授与する。各部門・各カテゴリー・各種目上位3チームには、賞状を授与する。また、上位1チームには、副賞を授与する。

☆ 競技規定

- ※ 競技中にロープが切れたり破損したりした場合、出場順を改めて一度だけやり直すことができる。
- ※ ビーズロープ、ワイヤーロープの使用可。

【個人種目】

30秒スピード（かけ足とび）

（かけ足とび）

- 1 30秒間でかけ足とびを何回跳べるかを競う。記録は30秒間に右足が地面についた合計跳躍回数で表す。
- 2 「Set」から開始のブザーまでは身体もロープも動かさないこと。ブザー前にロープを回し始めたり、明らかにジャンプに関連するような動きがあったりした場合には、不正スタートとなり、合計跳躍回数から10回をマイナスする。
- 3 競技終了後、直ちに審判が個人記録カードに記入する。
- 4 前回しても後回しても、どちらでもよい。

持久種目（二重とび・あや二重とび・三重とび）

- 1 記録は跳んだ回数（着地した回数）で表わす。ただし、あや二重とびについては手がクロスした回数を数える。
- 2 「はじめ」の合図があり、二回旋技・三回旋技を跳びはじめ、ロープが足に引っかかった時や、跳ぶのをやめたとき、また三回旋技は二回旋技や一回旋技、二回旋技は一回旋技になってしまったときが終了となる。
- 3 記録は、やめたときに両足ともロープを越えていれば、その跳躍は記録に入れるが、そうでない場合は、最後の跳躍は記録に入らない。
- 4 試技は1回とし、10回以上跳べた場合は、それを記録とする。記録が10回に満たない場合は、直後にもう一度試技できる。ただし、それでも10回に満たないときは、よい方が記録となる。
- 5 競技終了後、直ちに審判が個人記録カードに記入する。
- 6 前回しても後回しても、どちらでもよい。

【団体種目】

8の字ジャンプ

- 1 30秒間で8の字ジャンプを何回跳べるかを競う。記録は30秒間の合計跳躍回数で表す。何回ロープが引っかかっても競技は続けられる。
- 2 「Set」から開始のブザーまでは身体もロープも動かさないこと。ブザー前にロープを回し始めたり、明らかにジャンプに関連するような動きがあったりした場合には、不正スタートとなり、合計跳躍回数から10回をマイナスする。
- 3 1人1回ずつ跳び、跳んで抜けた後、次の人が跳ぶ。2人が同時に跳ぶことはできない。
- 4 選手は、3名以上とする。上限はない。
- 5 ロープの長さは、自由とする。
- 6 競技終了後、直ちに審判が記録カードに記入する。

8人とび

- 1 30秒間で8人が同時に跳んだ回数を競う。記録は30秒間の合計跳躍回数で表す。何回ロープが引っかかっても競技は続けられる。
- 2 「Set」から開始のブザーまでは身体もロープも動かさないこと。ブザー前にロープを回し始めたり、明らかにジャンプに関連するような動きがあったりした場合には、不正スタートとなり、最大跳躍回数から10回をマイナスする。
- 3 選手は10人とする。（ロープの回し手2人、ジャンパー8人）。
- 4 競技終了後、直ちに審判が記録カードに記入する。